

意見の概要と市の考え方(都市計画マスタープラン)

項目	ご意見の概要	市の考え方(回答)	備考
財源・予算措置・実現性	◇たいへん立派な計画であり、感心しているが、財源はどうか。絵に描いた餅にならないか。実現性が伴っていないのではないのか。	◆都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を定めるものであり、この方針に従って下位計画を策定していく。例えば、中心市街地活性化基本計画や住宅マスタープランのようなものが該当する。財源等については、下位計画の中で調整を行っていく。あくまで都市計画マスタープランは、田川市にとってどこが重要で、どのような取組みを行うべきかといった事項を定めるものである。	猪位金
	◇夢みたいなものであるが、これは実現可能なのか。		後藤寺
	◇ものを作る場合、財政的な裏づけが必要である。そういうものはどの程度あるのか。	◆都市計画マスタープランは、あくまで、今後都市計画を進めていく中での基本的な方針を決めていくものである。予算は今後個別の計画の中で見積もられていく。	鎮西田川後藤寺
	◇平成23年の夏に確定すれば、平成24年度の事業計画から予算化されていくものと考えていいか。	◆都市計画マスタープランは、各事業の必要性を位置づけるまちづくり方針であり、これに位置づけられることでようやくその実現に向けた取組みが可能と考える必要がある。当然、この実現に向けた各種計画の中で、これに必要な具体の事業内容及び事業費が算定されることになる。ただし、都市計画マスタープランでの位置づけがなければその事業化の検討さえ難しくなることが、この都市マスの重要性を示している。	猪位金
	◇いつの時点でここに書かれている内容は明確になるのか。	時期は想定できない。20年後の実現に向けて、各課が取り組んでいく。	猪位金
総合計画との関係	◇総合計画に即するとあるが、あれは10年計画となっている。これは20年である。10年の計画に基づくのになぜ20年の設定になっているのか。	◆将来的にこのまま20年間進めるというわけではなく、現況に合わなくなった場合は見直しもありえる。基本的に総合計画に即したものと策定している。	猪位金
	◇総合計画に即しているということを誰が確認をしているのか。	◆総合計画は総合政策課が策定している。都市計画マスタープランの内容は総合政策課との協議や、庁内の検討部会において調整している。検討部会のメンバーは部長や課長である。	猪位金
マスタープランの策定	◇大変すばらしい計画を作っていただいてありがたい。平成4年以降、第1回目の都市計画マスタープランができていればという思いがある。なぜ、これまで策定出来なかったのか、聞きたい。今回、職員の方は、大変だったと思うがこれに基づいて一つでも前進できるような計画や実施を期待している。	◆平成4年の都市計画法の改正で、制度化されたものの、策定に到らなかった。貴重な意見として頂戴する。	弓削田
	◇結論から言えば、立派なものである。不足のないものである。いろんな要望は出ているが、それは総合計画の中で出していくべきではないかと思う。これは20年先のプランで、あくまでもこうあらねばならないという一つの夢である。夢なんか出しても仕方ないと言われればどうしようもないが、こうあるべきまちを作るという地図は必要であると思う。	◆貴重な意見として頂戴する。	後藤寺
	◇後藤寺、伊田のまちはどんどん寂れている。20年後、私たちはいないが、どうにか作り上げてほしい。この計画を実現していくようお願いしたい。	◆貴重な意見として頂戴する。	後藤寺
	◇計画するのは簡単であるが、実行は並大抵のことではない。	◆今まで都市計画マスタープランというものは無かった。社会情勢の変化に対応するために、今回指針を作成し、現在ある施設を活用したり、民間にお願いをしたりして、限られた予算を集中的に配分していくための計画である。都市計画の分野は道路一本作るにしても時間がかかるものなので、腰を据えて将来の為に田川市を発展させる為に、20年間の計画を立てようとしている。	後藤寺
中心市街地の活性化	◇都市計画マスタープランは、結構なものであるが、少し抽象的である。伊田、後藤寺駅前が開発が進んでいるが、商店街はほとんどシャッターが下りている状態にある。商店街に対する具体策を持っているのか聞きたい。	◆都市計画マスタープランは、田川市全体を見ながらどこに力を入れていくのかを位置づけるための計画である。そのため、伊田駅周辺や後藤寺駅周辺を都市拠点としてこれから成長させようと基本方針を位置づけたところである。商店街活性化等の具体策については、中心市街地活性化基本計画等の個別計画で検討していく。細かな具体事業を記載することは個別計画に制限を加えることに繋がるため、都市計画マスタープランの中では記載しない。	弓削田
	◇都市計画として、中心市街地を活性化させる気はあるのか。	◆中心市街地の活性化は、本市の最重要課題という認識はある。しかし、行政だけが努力しても実現できないので、民間の活力を活用したり、既存の施設を有効利用しながら、限られた予算の中で活性化していかなざるを得ない。	中央

意見の概要と市の考え方(都市計画マスタープラン)

コンパクトシ ティ、 まちなか居住	◇2つの駅を中心にまちづくりをしたいと言うが、人があまり通らない所が商業地で坪30万円と言われている。市は人の通らないところで税金を取っている。中心部とバイパス沿いとは評価が全然違うと思うが。	◆商業地の評価額は、一般的に高くなる傾向にはあるが、商業地が衰退すればその評価に疑問が出るのは当然である。ただし、固定資産税の評価額は路線価と関連性があり、商業地の下落に伴って、評価額も低下しているものと考えられる。商業地の地価の下落は、都市の魅力の低下に関連するため、市としては商業地の魅力向上を図ることで、地価に適した土地の収益性を確保していく必要があると考える。	田川
	◇住宅がどんどん広がっていると言っているが、土地が安いから当たり前である。同じ100坪を買うにしても、駅前の100坪と郊外の100坪では全然違う。中心地に住めれば楽であるが、中心地は土地も税金も高く住めない。市は税金を安くしてくれるのか。都市計画として相反したことをやっているのではないか。	◆郊外化の流れをなかなか止めることはできない。しかし、将来的に郊外化が進むと暮らしづらいまちになってしまうので、出来る限り公共交通機関のある中心エリアで暮らしていけるようなまちづくりを進めていきたいと考えている。	田川
	◇コンパクトシティという発想はいいが、これまで市は城山団地、星美台団地という、いわゆる炭鉱跡地を造成して、宅地開発してきた。しかし、30年経てば、東京の多摩ニュータウンのように高齢化が進み、家はボロボロになり、住めなくなってくる。そういったところを少し頭にに入れてほしい。	◆貴重な意見として頂戴する。	伊田
目標人口・人口 構成	◇20年後、人口46,000人となっているが、人口構成などは把握しているのか。	◆20年後の人口構成は非常に難しいものである。現在の高齢化率は26%程度である。将来的には30%を超えるものと思う。	田川
	◇人口5万人を割れば、危機的な状況である。	◆市も同じ認識ではあるが、この減少傾向は直ぐには止められないので、今後まちづくり施策を推進して、5年後の推計人口を維持したいと考えている。	後藤寺
	◇福岡・北九州のベッドタウンとしての位置づけがないと、人口は増えない。	◆貴重な意見として頂戴する。	後藤寺
	◇人口46,000人とあるが、この場合、人口構成が問題となる。桐が丘も限界集落となっている。このプランの内容で大丈夫なのか。	◆都市計画マスタープランの特徴は、市民と行政がまちづくりの方針を共有することでより良いまちづくりを実現しようとするものである。将来、人口問題研究所が推計している人口値になれば、市の存亡にも係わる事態となる。また、人口減少を前提にしている、行政や市民が協働して取り組むべき理想像がなくなってしまう。将来人口46,000人が実現できるかどうかは分からないが、多少なりとも高い目標を持って、発展性のあるまちづくりを進めていくことが重要である。	伊田
幹線道路・生活 道路の整備	◇田川市の将来像、将来の発展を考えた場合、それなりの交通網の整備をしていかないといけない。それが白鳥工業団地等の発展を阻害する要因となっている。国道201号、322号バイパスからのアクセスを確保できる条件づくりに努めるべきと考える。	◆都市計画マスタープランでは、本市の道路ネットワークの構築に向けた交通施設整備の方針を示しており、この中では様々な拠点間連携を考慮した市街地循環路線や広域幹線道路を位置づけている。これによって白鳥工業団地へのアクセス性の向上が見込まれる。	猪位金
	◇伊田中学校横の市道の整備をお願いしたい。	◆ご要望として頂戴する。	伊田
	◇県道今任原・奈良線に歩道がなく、学童が危険な状態である。この路線の整備については、大浦区長会として要望書を市及び県に提出しているが、安全・安心なまちづくりを進めていくうえで、ぜひとも歩道整備をお願いしたい。	◆都市計画道路の検証と併せて、来年の3月までに市としての一定の方針を示したいと考えている。貴重な意見として頂戴し、委員会等に提出させていただく。	後藤寺
	◇レクリエーション拠点として、岩屋自然公園が位置付けられているが、そこに至る道の整備は入らないのか。	◆レクリエーション拠点として位置づけはされているが、そこに至る道路整備までは位置づけていない。今回は、生活幹線道路、広域幹線道路、市街地循環道路といった拠点間を結ぶ市街地内の幹線道路の整備についてその方針を示している。岩屋付近に通じる道としては、図で緑の線で生活幹線道路として位置づけられている。直接レクリエーション施設に通じる道ではないが、拠点間の連携という観点により、他の路線より道路の必要性が上がると考えられる。	金川

意見の概要と市の考え方(都市計画マスタープラン)

農地の保全	<p>◇田や畑などの農地は、極力保全してほしい。宅地化されれば、市にとっては、固定資産税の収入が増となるかもしれないが、逆に中心市街地の過疎化を招くことになる。中心市街地をひいきしてくれということではないが、公共交通のある駅周辺と商店街をいかに活性化していくかがマスタープランではないかと思う。</p>	<p>◆今後、効率的なまちづくりを進める上でも、農地の保全は基本的な考えとしてある。また、中心市街地の活性化については、本市の最重要課題として捉えている。しかし、都市計画マスタープランでは活性化の必要性は記述するものの、具体的な活性化方策までは記載しない。具体的な施策は、当マスタープランに基づいて計画される下位計画において記載されることとなるが、その下位計画を作成する場合に、この都市計画マスタープランでの位置づけが重要となる。</p>	中央
公共交通	<p>◇JRの見直しなどが入ってない。福岡・北九州から市への連絡が悪い。これでは人も来ないし、工業団地にも企業は来ない。公共交通の再編を考えて20年先とは言わず、100年先でもいのでしっかり取り組んでほしい。後藤寺と伊田と一緒に新たな田川駅を作るなどのプランを実行してもらいたい。</p>	<p>◆ご指摘の通り、鉄道の連絡性は悪いと思われる。それについては来街者、市民にとっても優しい公共交通網となるよう、解消していきたい。都市計画マスタープランの中では長期的な展望の下に、そのような問題を解消していきたいと考えている。現在、商工労政課において、公共交通の充実に向けた各種の取り組みが進められている。</p>	伊田
安全・安心	<p>◇春日町に住んでいるが、消防車が入って来れない。そんな場所で市民の安全、安心をどうして守れるのか。20年先の問題どころではない。</p>	<p>◆細街路や密集市街地の改善は、市にとっても重要課題ではあるが、莫大な費用や期間を要するため、地域住民の協力を得ながら進めていくことが必要である。</p>	後藤寺
公園の整備	<p>◇田川市には、中央公園や石炭記念公園などに遊具が点在しているが、これらが一つにまとまって、その周辺に緑地があれば、飯塚市にある筑豊緑地公園に似たものができると思う。そういったものを作ってほしい。</p>	<p>◆利用状況調査を行いながら、適正な利用や配置を考えていきたい。</p>	中央
下水道整備	<p>◇下水道がないと住民も集まらない。田川市と嘉麻市だけが下水道がない。恥ずかしいことである。下水道を整備する気はあるのか。</p>	<p>◆平成19年に都市計画課の中に汚水処理対策室ができた。平成21年の3月に市の中心部を公共下水道で、それ以外は浄化槽でという汚水処理構想はできたが、昨今の社会情勢、経済状況から今すぐ取りかかるというのは困難な状況にある。公共下水道の重要性は認識しており、新たな整備手法を含めて現在研究を重ねているところである。</p>	田川
	<p>◇今、田川市に何が必要かと言うと、下水道整備である。この下水道整備を早急に進めてほしい。制度事業に代わる雇用の場が必要である。</p>		後藤寺
空き家・空き店舗	<p>◇商店街など中心部は、将来的に高齢化率が40～50%になり、空き家が増えてくる。このギャップをどう埋めるかについて示す必要がある。</p>	<p>◆今後の検討課題として頂戴する。</p>	伊田
空き家・空き店舗	<p>◇市内には、廃屋が至るところに出ている。景観上、安全上の問題もあり、簡単にはいかないが、このマスタープランの中で位置づけてほしい。</p>	<p>◆廃屋の除却に対して助成を行っている市町村もあるが、建物所有者の社会的責任に対して税金を活用することについては、慎重な検討が必要なので、今後の検討課題として頂戴する。</p>	伊田
空き家・空き店舗	<p>◇石炭記念公園の下、栄町から伊田商店街へ通じるところに水路があるが、川渡り神幸祭や石炭歴史博物館に来た人も、この場所を通り、見た目も悪いのでこの景観整備が必要ではないか。</p>	<p>◆貴重なご意見として頂戴する。ゴミの問題等は、対応できる分については所管課で対応したいと思う。</p>	中央
都市施設の整備	<p>◇今、ペットを飼う人が増えている。ドッグランといったものが作れないかと思う。経済効果につながるると同時に、人と人とのコミュニケーションにもつながる。</p>	<p>◆ご要望として頂戴する。</p>	中央
住民説明会の開催・手法	<p>◇良い話を聞いた。都市計画がこうした総合的な内容で、市民に提示されたことはなかった。今までの計画が市民の知らない中で進められてきたし、今回、市民の意見を聞いてみたいと思われたことに、敬意を表する。市民との対話にもたいへん感謝する。</p>	<p>◆貴重な意見として頂戴する。</p>	田川
住民説明会の開催・手法	<p>◇少し早めに区長会理事会に下して、各校区の区長に説明に行くなり、やるべきではないかと思う。広報に折り込んで、目を通す人はほとんどいない。一人でも多く集めて、説明を聞いてもらえるようにしてほしい。</p>	<p>◆ご指摘頂いた点は、今回の反省材料だと思う。どのようにすれば市民の方々に集まってもらえるのか検討していきたい。</p>	田川
住民説明会の開催・手法	<p>◇これは素人が見てわかるものではない。わかりもしないようなことを並べて、言葉は確かに綺麗だが、これでは市民への説明にならない。もっともらしく市民にいかにも説明したというようにやっているだけのことにすぎない。</p>	<p>◆今回は、市の全体構想の説明であるため、分かりにくい面もあるかと思うが、今後は出来る限り分かりやすい説明に努めたいと思う。将来的に20年を見据えた計画ということで、20年経てばすべてこのようになるというものではないが、田川市の将来の姿として行政と市民などが一体となって取組む方針を示した。今後の地域別構想の段階では、後藤寺地区の詳しい方向性が示せるものと考えている。</p>	後藤寺
住民説明会の開催・手法	<p>◇この説明は大学で聞くような内容である。市民感覚とかけ離れている。</p>	<p>◆全体構想自体の説明も難しい部分もあって、伝わらなかった点もあったかと思う。貴重な意見として頂戴する。</p>	金川

意見の概要と市の考え方(都市計画マスタープラン)

市民協働のまちづくり	◇今日の説明は、多くの人に聞いてほしかった。少なくとも、これからのまちづくりは、市民参画、市民協働がこの計画を進めていくためのキーポイントではないかと思うし、積極的にまちづくりに参加しなければならないと感じている。もう少し参加者が増えるような手立てを共に考えたいと思う。	◆貴重な意見として頂戴する。	鎮 西
	◇まちづくりは、行政と市民が一体となってやるべきと考えている。前向きにやるという姿勢を市長も自ら示してほしい。	◆貴重な意見として頂戴する。	中 央
その他	◇都市マスは、議会の議決事項ではないが、議会には報告しているのか。	◆市議会常任委員会に報告をしている。	猪位金
	◇都市計画マスタープランの審議会のメンバー構成は。今まで何回審議されたのか。	◆市議会議員3名、学識経験者2名、公募市民2名、関係団体10名、計17名により構成されている。審議は、今年の10月から策定を開始して、4回審議している。	猪位金
	◇猪位金という言葉が全然出てこないが、猪位金の位置づけはどうなっているのか。	◆今回は田川市全体の方針である。今後、全体構想を基に地域別構想を9月以降に策定していく。	猪位金
	◇資料6ページの都市環境・景観形成方針の2番のタイトルは、環境にやさしい持続可能な都市づくりを進めます、としたほうがわかりやすい。	◆そのような意見を策定委員会に報告させていただく。	猪位金
	◇将来的に合併等の問題が出てくると思うが、そういう場合、田川市のみプランでいいのか。	◆今の時点では、合併がどのように進むのかといったことが不明確である。これは、田川市における都市計画のマスタープランであるが、当然合併が進むことによって、新たに作り直していくという形になると思う。社会経済情勢の変化に応じて作り変えていくということである。	金 川
	◇このマスタープランは、たいへん体力とお金がかかったと思うが、コンサルタントに委託せずに、今ある体制でできなかったのか。	◆都市計画マスタープランは、本市で初めて取り組むものであるため、経験豊富なコンサルタントに事務局として参加していただく必要があった。また、都市計画という分野は、非常に専門性の高いものであり、学識経験者や県などの専門的な調整を行う必要があるため、コンサルタントの参加は不可欠である。	金 川
	◇私たちは生活が一番大事である。もう少し現実味のあるマスタープランを作ってほしかった。市民感覚とかけ離れている。	◆都市計画自体の説明も難しい部分もあって、伝わらなかった点もあったかと思う。貴重な意見として頂戴する。	金 川
	◇マスタープランの説明であることは、理解しているが、この前提となる総合計画の資料が出されていない。	◆今回の都市計画マスタープランは総合計画を踏まえた内容となっている。	金 川
	◇一極集中も悪いとは言わないが、金川の意見も十分聞いてほしい。	◆貴重な意見として頂戴する。	金 川
◇田川市は将来的に商業、工業、農業どれをメインに考えているのか。それとも平均的なバランスをとっていくのか。	◆商業地域を指定したとしても、民間企業や事業者が出店しなければ商業地は成立しないし、行政が商業経営を行える訳ではない。福岡市は、商業地があるから人が来るのではなく、人が来るから商業地として成り立っている面が大いにある。政策的な取組みであれば何かの産業に特化するのも良いが、まちづくりでは都市としてのバランスを考慮して適切に進めていくことが望ましい。	金 川	